

海 **外**
論 **文** **&**
レ **ポ** **ー** **ト**

日本労働者協同組合連合会
第26回定期全国総会への
海外からのメッセージ

ICA (国際協同組合同盟)

日本労協連第26回総会・センター事業団第20回総代会への
ICA (国際協同組合同盟) イヴァノ・バルベリーニ会長からの挨拶

日本労働者協同組合連合会総会ならびにセンター事業団総代会にお祝いの挨拶を送ることができ、たいへん幸せに思っています。本年の総会はさらに格別な意味があり、私たちは皆、このことを誇りに感じます。

なぜ今年の総会がそれほどまで意味深いか。それはこの重要な催しが、原爆投下60周年の年に広島で行なわれるからです。この点で、本総会は、広島市長や私たちの協同組合員にとってと同様に、広島市民にとっても記念すべき集会となるでしょう。

同時にヒロシマは、広島市民のみならず、世界の人びとにとっても、人類の最悪の悲劇の一つに対する証言であり、平和の大義への献身を象徴するものです。平和、および核兵器のない世界を築く努力への、広島市民および市長、ならびにすべての日本の人びとの関与(コミットメント)は、よく知られた貴重な事実です。

そうした人びとの平和への関与と歩調を合わせて、ICAは昨年1年間、格段の努力を行ないました。それは、世界中に平和を広げ、ILOとの間に結んだ「相互理解の覚書」を実施し、「貧困に対するグローバル・キャンペーン」に共に取り組んで、尊厳ある就労の創出と貧困削減を図るものでした。

今年1月、私はポルト・アレグレに招かれ、第5回「世界社会フォーラム」に関連してブラジル協同組合運動が組織した、いくつかの重要な催しに参加してきました。この催しは、より公正なグローバル化に対する協同組合運動の関与を強調するものでした。

この4月には、テル・アビブとパレスチナの都市ラマラで、イスラエルおよびパレスチナの協同組合人と会いました。この出会いは、協同組合の将来的発展、とりわけ、この地域における平和の促進のために協同組合人が為しうる貢献に焦点を当てた、訪問活動の中で実現したものです。

ICAは、公正で暴力のないグローバル化の過程を築き、すべての人に平等な機会を提供できるようにするため、かつてないほど懸命に活動に取り組んでいます。日本労協連の取り組みは、ICAのそうした方針に関与し誠実に取り組む、すばらしい実例です。

私は、コミュニティ・ケアおよび雇用の提供と、協同組合法制の改正のために、日本労協連が行なった変革と努力を、高く評価するものです。

そうした関与は、協同組合と地方政府の間のより良い関係を拡大すると共に、日本社会の中に協同組合の社会的存在をますます目に見えるものにしました。

みなさんの連合会が組織したきわめて多くの催しが、協同組合運動の発展に対するあなた方の関与を証明しています。

世界の8億人の協同組合員と共に、日本の協同組合運動が、さらに多年にわたって成功を遂げられることを期待します。

ICA理事会を代表し、この総会を機に、日本労協連に対する私の心からの連帯の挨拶を送ります。

ICA会長

イヴァノ・バルベリーニ